



# 中間株主通信

**第69期 Interim Business Report**

2021年4月1日～2021年9月30日



長岡市天神谷地区「自然栽培米プロジェクト」の圃場

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、中期経営計画の最終年度である今年度の基本方針を『「プライド・BEIKAプラン」の総仕上げ～未来への挑戦～』と定め、持続的成長に向け経営課題に取り組んでまいりました。

中期経営計画の大きな柱として「BEIKA Lab」および「新長岡工場」の建設を掲げておりましたが、「BEIKA Lab」の稼働によりもち製品の生産能力向上とスピーディーな商品開発機能が整い、また、「新長岡工場」にグループ会社向け商品の生産を統合することで生産性の向上と効率化を図りました。海外事業につきましては、旺旺集団との連携による輸出を再開しており、「米菓」を「BEIKA」として世界に発信してまいります。

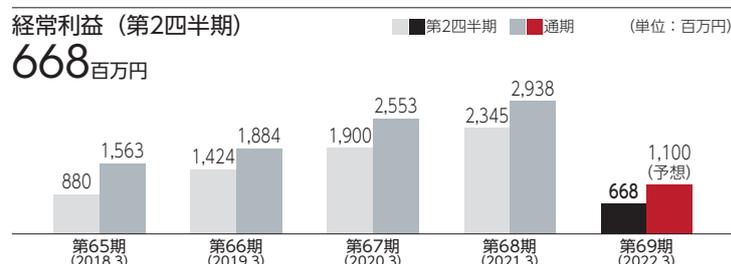
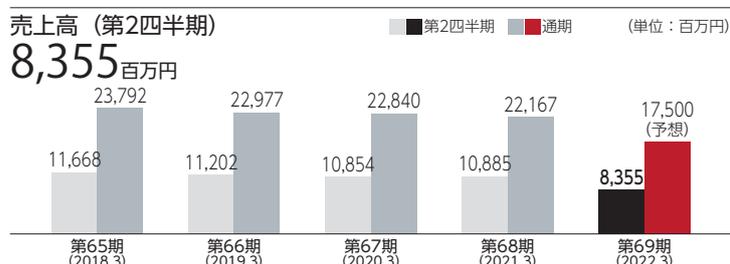
当社グループは、激変する経営環境の下、上記の新たな工場設備をはじめとする経営資源を最大限に活かし、日本のお米100%使用の岩塚ブランドを「おいしさの感動」としてお客様にお届けできるよう、社員一丸となって経営課題に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月



代表取締役社長 榎 春夫



※「収益認識に関する会計基準」を第69期より適用しており、当該会計年度は適用した後の数値となっております。

## 主力商品への集中と強みの強化

主力商品の販売強化により生産性の向上や効率化を図っており、現在、TOP7商品は出荷金額の5割以上を占めております。

また、BEIKA Labの稼働により当社が得意とするもち製品の生産能力が向上しました。販売強化により更なる強みの強化を図ってまいります。

### Top7ブランド



BEIKA Lab

## 「にっぽん米米菓売場」の拡大

日本のお米100%使用の商品を取り揃える「にっぽん米米菓売場」を全国で展開しております。米菓のおいしさをより多くのお客様へアピールしシェア拡大を狙います。

### 「にっぽん米米菓売場」店舗数の推移



「にっぽん米米菓売場」

## もち米新品種「ゆきみらい」の取り組み

「ゆきみらい」は新潟県が新たに開発した県育成品種のもち米です。

新潟県、地元JA、岩塚製菓で連携し、2021年から量産作付けを開始しました。今年の収穫する全量を岩塚製菓が購入します。

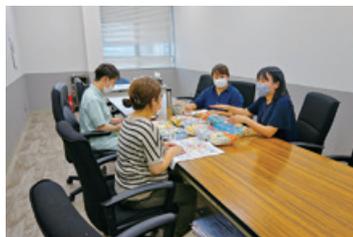
「ゆきみらい」は米菓の加工に適しており、高品質で安全安心な製品になると期待しております。また、早生品種のため、作期分散も可能なことから新潟県における作付け拡大も期待でき、地域農業の活性化や環境保全にも貢献できる取り組みであると考えております。



新潟県が新たに開発した県育成品種「ゆきみらい」

# 「おこせん」リニューアルプロジェクト

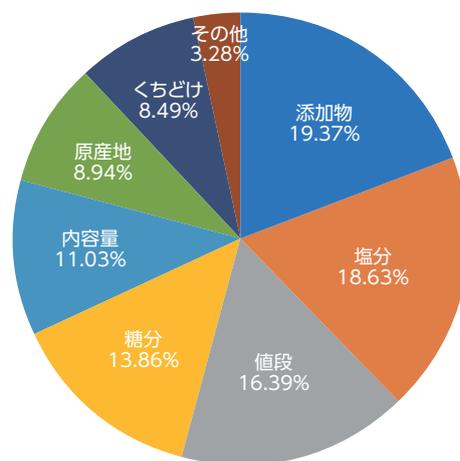
「岩塚のお子様せんべい」は発売から55年のロングセラー商品です。この度、「今の時代に合ったベビーせんべい」を作ってほしいという声が内外から多くあり、リニューアルプロジェクトを始動しました。ファンサイト「おこせん」の登録ユーザーにアンケートやリモート座談会を実施し生の声を反映した今までにない大胆な見直しを行いました。今後も、お客様に寄り添った商品開発を行ってまいります。



↑サイトはこちら

「おやつときファンサイト」を活用したユーザーとのリモート座談会

## ベビーせんべい購入時に考慮すること



「おこせん」ユーザーへ実施したアンケート結果



リニューアル前



リニューアル後

新しい「岩塚のおこさませんべい」は、原材料を「うるち米(国産)、砂糖、食塩」のみに変更、食塩は従来品比の約50%にしました。また、商品名はひらがなに変更、パッケージは子どもが喜ぶ動物のキャラクターを採用しました。

# SDGsの取り組み

## ソーラーパネルを設置

飯塚工場の屋上にソーラーパネル約900枚を設置しました。工場で使用できる電力の最大20%を供給することが可能となります。今後も環境負荷の低減に繋がる取り組みを推進してまいります。



飯塚工場

## 子ども食堂に米菓を提供

子ども食堂は、経済的理由や家庭の事情によって食事をとることができない子どもたちを支援する社会的な役割を担っております。新潟県内30軒の子ども食堂に弊社米菓をおやつとして提供いたしました。



長岡市の「まちなかコミュニティ食堂」

## 地域保全への取り組み

自然栽培米は、農薬や化学肥料などを使わず自然の力だけでお米を育てる農法です。岩塚製菓は2017年より地元JA・生産者と共同で、おいしい米づくりを目指し「自然栽培米プロジェクト」に取り組んでいます。また、里山の環境保全にも繋がる活動として継続してまいります。



## BEIKA LabがISO22000取得

本格稼働したBEIKA LabがISO22000を8月に取得しました。更なる品質向上に努め、安全安心な商品をお届けしてまいります。



工場と研究開発部門を併設するBEIKA Lab



## 輸出事業の強化

2021年3月より、旺旺集団と連携し台湾や香港への輸出を再開いたしました。輸出事業の強化を図り、日本のお米100%商品である「BEIKA」を世界に発信してまいります。



賞味期限を延長し、食品ロスの低減とともに輸出強化にも対応しています。

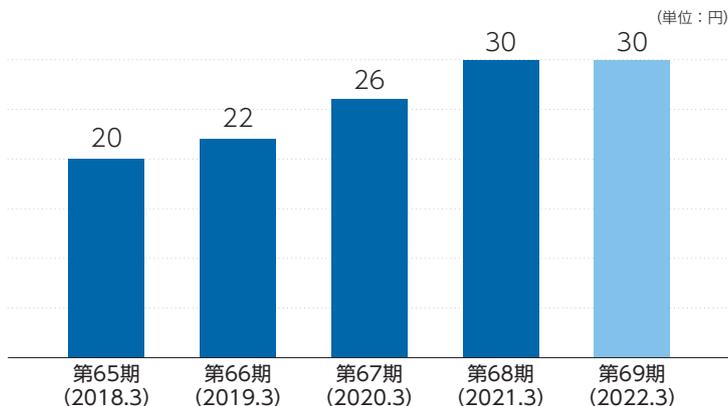
## ワクチン接種の実施

従業員と家族を対象に新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施し、9月4日までに2回の接種が完了しました。従業員が安心して仕事ができ、お客様に安全な商品をお届けできる環境を整えました。



## 期末配当予想について

当社は株主様に対する利益還元を経営の最重要政策の一つとして位置づけており、米菓業界における熾烈な企業間競争の中にあつて、常に新技術の開発と生産性の向上を目指し、競争力を一層高めるとともに、業績に裏付けられた成果の配分として、剰余金の配当を行うことを基本方針としております。今後の事業展開等を勘案して、2022年3月期は期末配当予想を1株当たり30円といたします。



### 会社の概要 (2021年9月30日現在)

社名	岩塚製菓株式会社 IWATSUKA CONFECTIONERY CO.,LTD.
本社所在地	新潟県長岡市飯塚2958番地
設立	1954年4月27日
資本金	16億3,475万円
従業員数	(連結)897名 (単体)839名
主な事業所	本社 (工場) 沢下条(第一・第二・第三・第四)工場、 BEIKA Lab、飯塚工場、長岡工場、北海道工場 (支店) 広域支店、北海道支店、東北支店、信越支店、 東京東支店、東京西支店、中部支店、関西支店、 中四国支店、九州支店
ホームページ	<a href="https://www.iwatsukaseika.co.jp/">https://www.iwatsukaseika.co.jp/</a>

### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月(基準日 3月31日)
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日(中間配当をおこなう場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
お取扱窓口	お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、 特別口座管理機関のお取扱店
特別口座管理機関お取扱店	みずほ証券およびみずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 (みずほ証券では取次のみとなります)